

にこにこ情報

# 竹とんぼ

第224号 令和元年10月1日

幸せ家族のお手伝い!

40<sup>th</sup>  
Anniversary

にこにこサービス



発行 社会福祉法人緑樹会

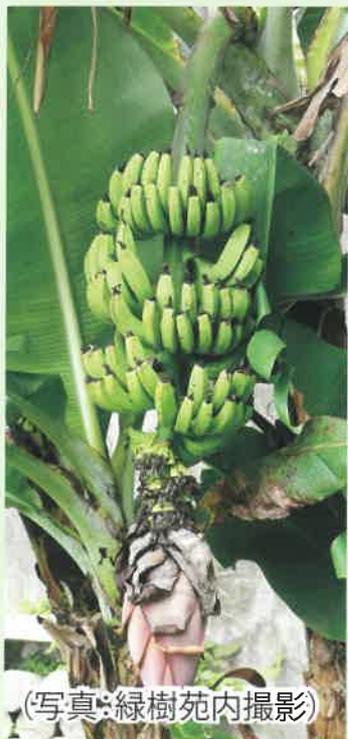
〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

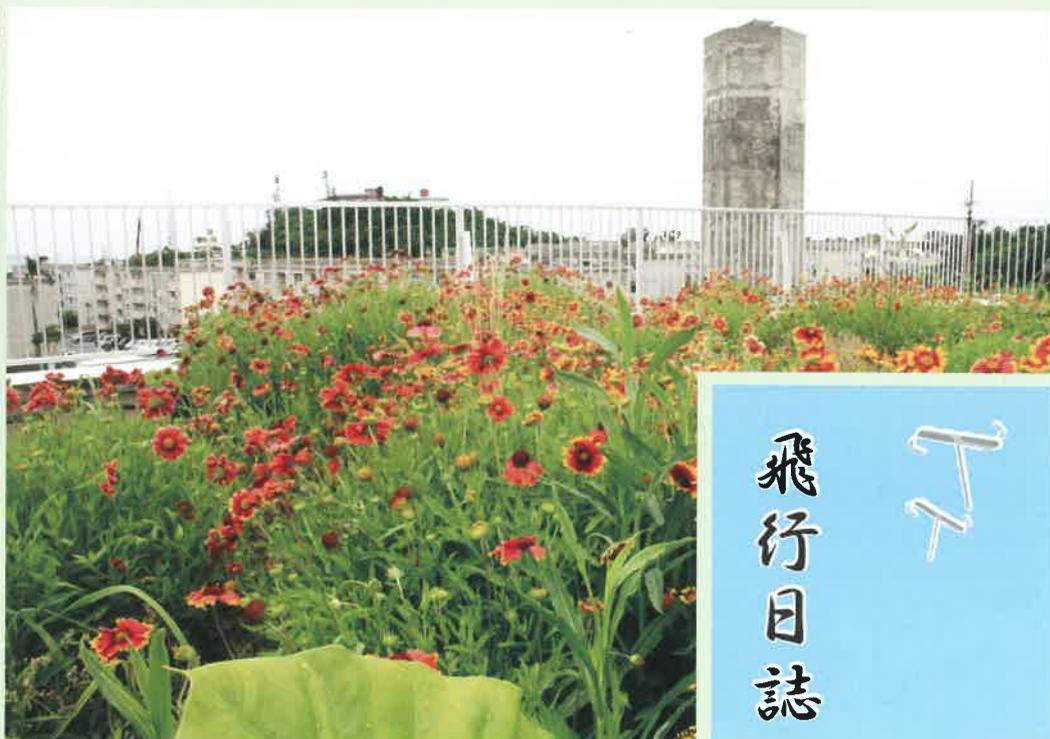
FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール [info@ryokujukai.or.jp](mailto:info@ryokujukai.or.jp)



(写真:緑樹苑内撮影)



## 飛行日誌



「お前が二十歳になったら酒場で二人で飲みたいものだ」  
「お前が二十歳になったら 思い出話で飲みたいものだ」したたか飲んで  
でダミ声あげて お前の二十歳を祝うのさ」

河島英五が唄う「野風増」は、成人した息子と酒を酌み交わすのを楽しみにしている、そして、いつかその時がきたら、人生の先輩風を吹かせて、息子と語り合い、大人への門出を祝いたい父親の心情を表した唄である。私はこの唄が好きで、カラオケでは毎回歌っている。

実際に息子と二人で酒を酌み交わす時が来たら、どんな会話になるだろうか。社会の厳しさについて父が語るのを、目の前で退屈そうに息子が生返事をするだけの会話になるのか、それとも、お互いの価値観や人生観、これまでのお互いへの想いを素直に話せたりするのだろうか。

介護サービスの現場では、親子がお互いの想いを素直に伝えない場面をよく目にするところがある。例えば、子は親に介護サービスをとにかく勧めめる。親は、私は元気だから大きなお世話だ。みたいなことだ。だが個別に話を聞くと、子は親にいつまでも元気で暮らしてほしいと想い、親は子に心配や負担をかけたくないと想う。お互いを思いやり、お互いの気持ちを理解しつつも、世の中には様々な親子関係があり、素直に想いを伝えられない親子がいる。あるいは素直に想いを伝えられる親子の方が少ないのかもしれない。

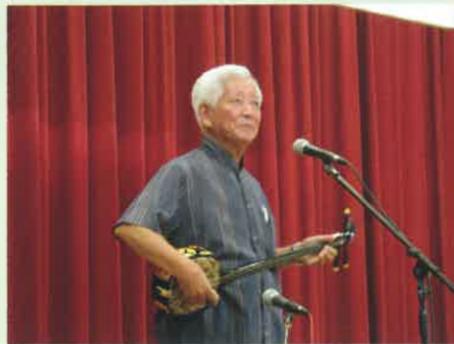
そんな親子の想いを受け止め、親子双方に寄り添った介護サービスを計画し、支援する。想いの橋渡しができるこの素晴らしい仕事に携わっている充実感、そして使命感と共に、これからも最高の介護サービスを提供していきたい。

さて話を戻し、私の息子は県外大学に進学したこともあり、息子が二十歳になった時も、二人で酒を酌み交わす機会はなく、現在においてもまだ実現はしていない。「野風増」を思い描いて、今度飲み誘ってみよう。断られるかもしれないが……。

ん!? そういえば…… 私が酒を飲める歳になって26年が経つ、その間親父から飲みの誘いはあったが、気恥ずかしさや面倒くささもあって、一度も酒を酌み交わしたことが無い。「親の心子知らず」とは、まさにこのこと。

「すまん親父、今度二人で飲みに行こう」

(法人本部 事務局長 與座嘉一郎)



舞台では、お祝い対象者のご家族による舞踊や唄三線、ダンスなどの余興が披露され、家族の喜びに共感しながら、長寿の節目を祝う、会場は大いに盛り上がった。

お祝い対象者への記念品贈呈式では、新百歳を迎えた久場ヨシ子さんに、與那

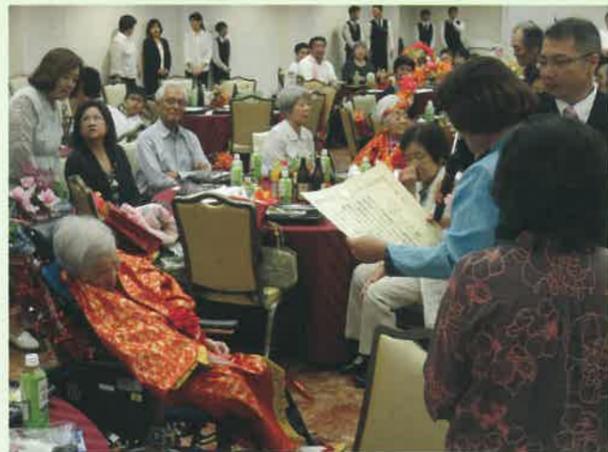


(砂川智規)

比嘉マチ子民謡研究所の皆さんによる民謡ショーでは、巧みな唄三線を披露。カチャーシーで、会場の盛り上がりは最高潮に達し、敬老会に華を添えた。

スライドショーでは、お祝い対象者の『思い出の写真』とともにプロフィールやありし日のエピソードを紹介。家族の皆さんは、当時を懐かしみながら頬を緩ませ、涙する方もいた。

嶺克枝沖縄市副市長が、総理大臣からの祝い状を代読し、記念の銀杯が手渡されました。また、浜川通理事長より、法人からの記念品が贈られた。続いて、カジマヤー・トーカチ・生年祝いの皆さん一人ひとりに、各施設の施設長と家族会会長からそれぞれ記念品が贈られました。



社会福祉法人緑樹会創立四十周年記念事業  
令和元年度 社会福祉法人緑樹会 敬老会

祝新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝



カジマヤー祝い 宮平ヨシ子さん  
カジマヤー祝い 宮城兼康さん  
カジマヤー祝い 福地トヨさん  
カジマヤー祝い 饒波和子さん  
カジマヤー祝い 楚南ヒデさん  
カジマヤー祝い 桑江ヨシ子さん  
新百歳祝い 久場ヨシ子さん  
生年祝い 佐久間弘子さん  
生年祝い 仲宗根竹子さん  
トーカチ祝い 島 満夫さん  
トーカチ祝い 比嘉寛幸さん  
トーカチ祝い 喜納松重さん  
カジマヤー祝い 玉元トヨさん

9月16日の敬老の日。令和元年度緑樹会敬老会・新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝が開催された。

今年、法人創立40周年にあたり、記念事業として開催された。

敬老会には、今年、新百歳祝いの久場ヨシ子さんをはじめ、カジマヤー、トーカチ、生年祝い迎える13名の方々を祝おうと、ご家族や来賓など、約130名余が参加してご長寿の節目の年を祝った。

はじめに、舞台前で13名のお祝い対象者が紹介されると、一人ひとりに会場から大きな拍手が送られた。

浜川通理事長が式辞を述べ、大正から昭和、平成、そして令和の時代を生き、今の平和な沖縄を築いてこられた皆さんに感謝の言葉を贈った。

続いて、来賓として沖縄市の與那嶺克枝副市長、沖縄市社会福祉協議会の積静江会長が祝辞を述べ、かりゆしニアクラブ(沖縄市老人クラブ連合会)の新屋孝一会長が乾杯のあいさつをし、長寿を祝った。



# 緑樹苑デイサービスセンター「夏まつり」

8月19日(月)、緑樹苑デイサービスセンターで夏祭りが開催された。

背中が大きく「祭」と描かれたはつぴを着た職員が会場を盛り上げた。今回は、利用者の皆さんが昔に遊んだことがあるような輪ゴム鉄砲で『射的ゲーム』を会場内で行った。

利用者の皆さんは、真剣な表情で狙いをすまし、的に見立てた紙コップにうまく当たると「当たった!」と歓喜の声を上げていた。中には、気持ちがあ熱くなって他の利用者への射方をアドバイスする方もいた。

おやつタイムには、かき氷で涼を取り、「冷たくておいしい」と皆さん笑顔を見せていた。(比屋根英朗)



# 8月誕生会 (緑樹苑デイサービスセンター)

8月20日(火)、緑樹苑デイサービスセンターでは、8月生まれの誕生会が行われた。今回は5名の誕生者があり、最高齢は96歳。

比嘉主任の乾杯の掛け声で誕生会が始まり、余興では、ボランティアで「宮城清結舞踊」の山城順子さん、亀川盛順さん、石嶺美恵子さんが訪れ、「かぎやで風」「祝い座ぬ踊い」「童神」「唐船ドリー」の4曲を披露した。

『童神』では、利用者の皆さんも一緒に踊り、楽しんでいった。デイサービスで撮影した写真をプレゼントし、誕生者の皆さんは、とても喜んでいった。

最後には比嘉主任による三線演奏で皆さんでカチャーシーを踊り、大いに盛り上がった。(津嘉山聖羅)



# 緑樹会「旧盆エイサー」



沖縄の夏の風物詩で、緑樹会でも毎年恒例となっている旧盆エイサーが8月14日(水)、ケアハウスでいんさぐぬ花を皮切りに、ケアハウスはいびすかす、総合福祉センター・緑樹苑の各施設で利用者の皆さんに披露された。

演舞会場では、利用者の皆さんが待ちわびた様子でエイサー隊を出迎えた。そして、「ひーやーさーさーっ!」の掛け声で軽快な三線演奏がはじまると、太鼓の音が鳴り響き、力強い男踊りと女性らしい柔らかな動きの女踊りとともに、勇壮な演舞が披露された。

利用者の皆さんは、太鼓に合わせて手拍子しながら掛け声を入れたり、手踊りするなど、迫力あるエイサーを楽しんだ。

演舞終了後には、エイサーを披露した職員に拍手を送り、「とっても良かったよ」と労いの言葉をかけていた。(砂川智規)

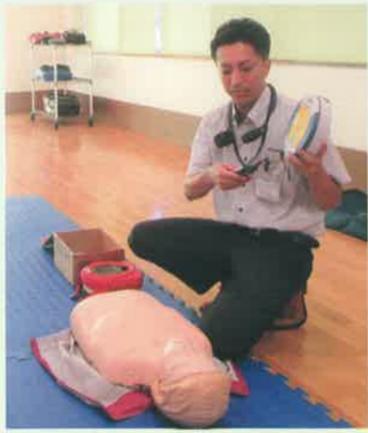


# AED(自動体外式除細動器)勉強会を実施

ケアハウス  
ていんさぐぬ花

8月26日(月)、ケアハウスていんさぐぬ花では、AED勉強会が行われた。榎サニクライン九州の屋我正人氏を講師に迎え、一次救命処置とAEDについての講義が、わかりやすく説明された。「AEDがなぜ必要なのですか?」との問いには「倒れている人を見かけたら即座にとるべき対応からAED使用までの一連の流れを確認した。AEDの使用方法では、デモ機の音声ガイドに従って取り扱い、人形を使用して胸骨圧迫を実践した。」

職員一人一人が救命に関する手当の手順や傷病者の発見から医療機関へ引き継ぐまでの流れをスムーズに連携できるような内容を確認し、知識を持って情報共有することで、『命』を救うことができることを学ぶ勉強会となった。(小渡 修)



# 「日本介護支援専門員協会全国大会in四国」に参加



緑樹苑居宅介護  
支援事業所  
主任/管理者 松田 裕子

8月31日〜9月1日の2日間、徳島県で開催された「第13回日本介護支援専門員協会全国大会in四国」に参加した。一日目は日本介護支援専門員協会活動報告が行われ、二日目の研究発表会では、茨城県内の24カ所の居宅介護支援事業所で2年間実施された「医療重視型ケアプラン作成推進事業」のAI(人工知能)支援ツールを活用した事業についての中間報告があった。

支援ツールでは、ケアマネジメント業務で必要とされる機能のうち、知識・情報等を補完、パターン化したニーズ分析・目標、状態の将来予測の優位性を発揮できるAI機能を活用することで、①住み慣れた地域で出来るだけ長く自立した生活ができる。②利用者・家族がサービスの必要性と効果を理解し適切なケアプランを選択できる。③介護支援専門員の業務負担を軽減し利用者支援の充実を図る。という3つの狙いがあり、AI支援ツールを活用し利用者の状態像と解決すべき課題、必要サービスの種類や量、サービスの利用後の将来予測を可視化した結果、AI活用後のプランでは要介護1・2では通所リハビリ系サービスの利用、要介護3・4では通所介護サービスが提案され、介護度に応じたサービスプランが作成できたとのこと。

AI支援ツールを活用した介護支援専門員に事後のアンケートを行った結果では96%がケアプランの見直しに役に立ったと回答。しかし、地域の資源の現状、家庭環境や利用者の性格、家計状況といった点にまで配慮したサービスのコーディネートに關しては、AIが必要とする学習データの作成が技術的に困難なため、どうしても介護支援専門員が地域資源等を追加したケアプラン作成が必要になったとのこと。

AIが必要な情報を抽出するか、新たに項目を作り出せるまでデータを蓄積する方法の提案もあり、今後は、自立の定義を明確化していくと同時に、地域資源・家計の状況等の情報のデータ入力やAIを使いこなすことができれば、介護支援専門員の仕事の効率は飛躍的に上がり、人と向き合う仕事などに時間をまわすことができるとの話であった。その意味では、AIは介護支援専門員の業務を補助する力強い味方となる。またAIをうまく活用することにより仕事のしくみを変えることができ、将来予測機能を利用すれば、質の高い自立支援型のケアプランが作成できると考えられる。

私自身は「AIがケアプランを作成する」と聞いたときは、「今後は、介護支援専門員の専門性が問われることになる」と思ったが、AIはライバルではなくあくまで『助手』として考える必要があり、今後、AIツールの活用にあっても忘れてはいけない事は、介護支援専門員は「よりよいケアマネジメントを提供すること」であり、研修を通して改めてその視点の重要性を痛感した。

# みどり学童クラブ「うーまくー通信」 楽しい♪夏休み!!



## 社会見学 (具志川火力発電所)

8月20日(火)、具志川火力発電所へ社会見学に行ってきました。到着してまずは電気科学館の見学です。ここでは電気とエネルギーが自分達の生活とどうつながっているのかが、様々な楽しい装置に触れながら体験できる場所です。自転車で発電する装置や電気と生活の昔と今が分かる動画が見れたり、3Dシアターでは自分達の周りに迫ってくる恐竜の大迫力に大興奮していました! その後は発電所の仕組みなどを教えてもらい、バスで発電所内を見学しました。風力発電に使われる風車を目の前にして、あまりの大きさに子ども達だけではなく大人もびっくり!

普段は気にしないで使用している電気について楽しく学べた一日でした。



## 流しそうめん

8月26日(月)、学童の裏庭で「流しそうめん」を行いました。この日は天気も良く、絶好の屋外イベント日和でした! 互助会から頂いたテントやテーブルも出して、ちょっとしたキャンプ気分も味わえました。

見ていると、箸でそうめんをせき止めガッツリ持っていき、流れてくるそうめんを少しずつ取りながらパンパンにそうめんをつめて食べる子など、みんな工夫しながら楽しく食べていました。そうめんだけで飽きないかな? 食べきれないかな? という大人の心配をよそに、8キロあったそうめんは見事に子ども達のお腹の中へ消えていきました!

そうめんに限らず、たくさん仲間たちと食べられる空間というのは、子ども達にとって、それだけでも最高の思い出になったようです。

## 水あそび!

8月29日(木)、夏休み最後の日、みんなで裏庭で水遊びをしました。最初は水風船を使いウォーターバトル! これだけでも十分楽しめるようにと用意した300個の風船は一瞬にしてなくなりました(笑)大人の予想をはるかに超える子ども達のパワーには脱帽です。

続いては大きな風船に水を入れ、こぼさないように2チームに分かれて風船運びリレー。ツルツルすべる風船を必死に抱きかかえながら走っていましたが、途中で割れてしまい、そこからは本気リレーに! 職員も本気走りで参加し、汗と水でびしょ濡れになりながら遊びました。



## 10月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(火)			脳トレ		
2(水)		ミニシアター	映写会		
3(木)		カラオケクラブ	スカッシュボール	ハンドマッサージ	
4(金)			手工芸	手芸クラブ	
5(土)			ボウリング		園外活動
6(日)			カラオケ		
7(月)	利用者健康診断	民舞クラブ	輪投げ		
8(火)		三板クラブ	三板クラブ		
9(水)		防災訓練	映写会		
10(木)		手作りおやつ会	運動会	手作りおやつ会・防災訓練	
11(金)	運動会	運動会	手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
12(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ
13(日)			カラオケ		
14(月)		書道クラブ	輪投げ	運動会	学童休園日
15(火)		ミニドライブ	脳トレ	運動会	
16(水)		ミニシアター	防災訓練	カフェタイム	
17(木)	避難訓練	カラオケクラブ・美化活動	誕生会		
18(金)		手芸クラブ	手工芸	手芸クラブ・誕生会	
19(土)		お茶会	ボウリング		園外活動
20(日)			カラオケ		
21(月)			輪投げ		
22(火)		三板クラブ	三板クラブ・脳トレ		
23(水)		防災訓練	ミニドライブ	防災訓練	
24(木)		民舞クラブ	散髪		
25(金)	誕生会	誕生会	手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
26(土)			ボウリング		園外活動
27(日)			カラオケ		
28(月)		書道クラブ	利用者健康診断		
29(火)	避難訓練		脳トレ		
30(水)			映写会		
31(木)			スカッシュボール		

## 感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

(令和元年七月一日～八月三十一日)

(金員の部)

安仁屋 眞昭 様

## 編集後記

今年、「敬老の日」に合わせて緑樹会敬老会「新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝」を開催しました。

敬老会では、お祝い対象者のご家族にも余興のご協力をいただき、祝宴に華を添えてもらいました。

高齢者施設を運営する法人にとって、この『敬老会』が、一年をとおして最も大切なイベントです。その敬老会を、ご家族の皆様と一緒につくり上げ、ともに祝うことができたことに大きな喜びを感じます。

また、敬老会へのアドバイスやご提案など多くのご意見をいただき、行事の運営に反映させることができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

(砂川智規)

緑樹会のホームページから竹とんぼをご覧ください。



またはインターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ